

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	土岐市	学校名	土岐市立泉西小学校			
校長名	山田 弘子	対象学年	全校	人数	283人	
活動名	みどりの時間	時間数	15時間(第1学年) 10時間(第2学年) 30時間(第3学年) 5時間(第4学年) 70時間(第5学年) 62時間(第6学年)	継続年数	22年	
題材	1 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [] ② 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [古墳の見学西っ子オリエンテーリング] ③ 文化(芸能・芸術・民話・風習・ <u>その他</u>) [昔遊びの伝承] ④ 地場産業(農業・水産業・ <u>伝統工芸</u> ・その他) [陶芸教室] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [夢と絆のつどい・ミュージカル発表] ⑥ その他() [地域探検]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色ある活動としての位置付けを明確にし、学校運営の中に組み込んでいく。 ・総合的な学習の時間や生活科の時間を計画的に利用し、学年ごとに課題をもちながら地域とのかかわりのある活動を進める。 ・毎年、地域の方と連携を図り、外部講師として来校していただいたり、児童の校外活動にかかわっていただいたりすることを地域の方々の計画の中にも組み込んでおいていただく。 					
<p>1 ねらい 地域の産業や地域の人々から、自分たちの住む地域について調べたり触れたりすることを通して地域理解を深め、これからの地域の一人としての心を育てる。</p> <p>2 活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を知る活動 「乙塚古墳」「段尻巻古墳」を見学し、地域の方から話を聞き、教科書と比較して学習する。(第6学年)・・・資料① 「TOTO」を見学し、地域に全国的な会社があることを学習して地域の企業とのつながりをもつ。(第5学年)・・・資料② 「美濃焼」について調べ学習を行う。調べたことについて、市の学芸員の方の詳しい説明を受けながら、「おりべの里公園」「元屋敷窯」「美濃陶磁歴史館」等を見学する。(第5学年)・・・資料③ 総合的な学習の時間に地域探検活動を行い、地域産業である陶器工場の見学を行う。(第3学年)・・・資料④ 戦争を体験された地域のお年寄りを招いて「戦争体験を聞く会」を行い、地域の歴史について学ぶ。(第6学年)・・・資料⑤ ・広める活動 児童会行事「西っ子オリエンテーリング」で全校児童が地域を探検する。縦割り集団で活動する中で、高学年が下学年へ地域を紹介し、全校児童が地域にある様々な場所を知る。・・・資料⑥ ・体験する活動 図画工作科の時間に、全校児童が作陶体験を行う。(全校)・・・資料⑦ 地域の方の指導を受け、地場産業であり伝統芸でもあるろくろを使った茶碗作り体験を行う。(第5学年)・・・資料⑧ 地域の方の指導を受けながら、自分の作った茶碗でお茶をたてていただく体験学習を行う。(第5学年)資料⑨ 地域の工業組合の方の指導を受けながら、ランプシェードづくりを行う。地域行事「あかりの夕べ」で全員の作品を展示し、親子で見学して、地域産業である陶器のよさを味わう。(第3学年)・・・資料⑩ 生活科の生き物探検で「織部の里公園」を訪れ、地域に整備されている場所で学習する。(第2学年)⑪ 生活科の秋みつけで「隠居山古墳」を訪れる。(第1学年)・・・資料⑫ ・絆を深める活動 地域の皆さんに自分たちが頑張っていることを伝える「夢と絆のつどい」を行う。(全校)・・・資料⑬ 茶碗づくりでお世話になった方を招き、茶碗づくりや美濃焼について学んだことの発表会を行う。(第5学年)・・・資料⑭ シルバー人材派遣の方を招き、昔の遊びを教わったり楽しんだりする中で、日頃の感謝を伝える。(第1学年)・・・資料⑮ 6年間の集大成として行うミュージカル公演会を地域の方にも見ていただき、感謝を伝える。(第6学年)・・・資料⑯ <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や伝統工芸を取り上げる中で、地域の方の思いを伝えることを大切にしている。そのため、地域の老人会から協力を得ることができ、多くの方が講師として参加してくださっている。 ・児童が地域の方への感謝の気持ちをもつこと、地域の方が児童との交流を気持ちよく行っていただけることで、長年にわたり、こうした交流が続いてきている。 ・他の学校行事についても「趣旨や願い」を伝えて参加していただき、常に学校や児童の様子を知っていただいている。 <p>4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む町は古くから立派な産業が受け継がれてきていることを、全校児童が発達の段階に応じて知ることができている。同時に、地域のよさを味わうことができている。 ・詳しく学習していく中で地域に受け継がれた産業に関心をもち、更に調べ学習を自ら進める児童もいた。児童の書いた主張作文の中に、「地域を大切にしたい」という思いが書かれている。・・・資料⑰ ・立派な茶碗を作り上げ、全児童が嬉しいという思いを抱くことができた。自分で作った茶碗でお茶を飲むことに喜びを感じるとともに、広く役立つ作品を地域では作っていることに触れることができた。こうした取組は、総合的な学習の時間に位置付けている。資料⑱ ・ミュージカルの発表は、地域からも楽しみにしていただけ、学校の伝統として支えていただいている。第6学年の目標でもあり達成感を味わう場でもある取組を、地域で支えていただいていると児童自身も感じる事ができた。 						